

令和3年度 入学生用 [家庭科] シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
家庭	住生活	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書				担当者	

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																																				
学習方法	授業や演習を通し、正しい知識を身につけ、情報を選択できるように心がけましょう。授業で活用するプリントの提出を重視します。提出物のめ切を守るようにしましょう。忘れ物をした場合は、申し出るようにしましょう。																																				
学習評価	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">育成を目指す資質・能力</th> <th colspan="2">育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>基盤的学力</td> <td colspan="2">文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>問題発見・解決能力</td> <td colspan="2">問いを立て、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>情報活用能力</td> <td colspan="2">情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>主体的判断能力</td> <td colspan="2">物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>協働力</td> <td colspan="2">他者を尊重し、協働することができる。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>自律力</td> <td colspan="2">規範意識をもって自律的に行動することができる。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>実践力</td> <td colspan="2">自ら考えて行動し実践することができる。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>自己認識力</td> <td colspan="2">自分の思考を客観的に捉えることができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をつまみ、定期考査の点数、授業中の取り組み、演習やレポートの取り組み、提出物などで総合的に判断します。</p>	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容		1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。		2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。		3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。		4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。		5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。		6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。		7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。		8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。	
	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容																																		
	1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。																																		
	2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。																																		
	3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。																																		
	4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。																																		
	5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。																																		
	6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。																																		
	7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。																																		
8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。																																			
担当者から	実習費を集める予定です。また、実習費とは別に授業での演習のため、家から不用になったもの(通販カタログなど)を持ってきてもらう場合があります。教室移動がある場合にはチャイムがなる前に移動し、遅刻した場合は必ず理由を伝えましょう。																																				

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価基準	評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8			
4	人と住居	住まいと風土	日本の住居の特徴	○	○							○	日本の住居について理解する。 海外の住居の特徴について理解する。 住まいの様式や住まいの役割について、理解する。 自然環境や文化などに調和した住まいを考えることができる。	定期考査 プリントの記入内容 演習等のレポート などを基に評価する。
4			住まいと文化	日本の住居の変遷	○	○								
4			海外の住居	○	○									
5		人と住居の関わり	住まいの役割	○		○								
5			様式と住まい方	○							○	○		
5	住まいの計画	住空間	ライフステージと住居	○			○	○					ライフステージと住まいの関わりについて理解する。 生活行為とスペース、空間と動線の関わりを理解する。 平面図を見て、住宅、部屋や家具の配置を理解できる。 家族構成に合わせた適切な住居の選択や必要なスペースなどがわかる。	
6			生活行為と住居		○		○					○		
6			住空間とゾーニング	○								○		
7			平面図を読み取る	○	○							○		
7			家族構成に合わせた住まい選び		○	○					○			
8		住空間作り	間取りと大きさ	○		○	○							
8			家の設計			○					○	○		
9		安全・安心な住まい	防災・防犯	自然災害への対応			○		○	○				
9	災害への備え			○		○					○			
10	防災マップ				○		○					○		
10	人為的な災害への対応					○	○	○						
10	家庭内での事故と対策			○		○						○		
11		住みやすい住居	バリアフリーとユニバーサルな住まい		○	○		○				住まいのバリアフリーやユニバーサルデザインを理解できる。		
11	住環境	住まいと健康	快適な住環境の要素	○		○	○						快適な住環境の要素を理解し、それを保つための掃除などの対応を理解できる。	
11			効果的な掃除			○	○					○		
12		住まいの管理	老朽化とメンテナンス	○	○							○	住居のメンテナンスの必要性と方法について理解する。	
12	インテリア	インテリアコーディネート	色と心理	○			○					○	色が心へ与える影響を理解し、室内のレイアウトやコーディネートを考えることができる。 いろんなイメージのインテリアを考えることができる。	
1			レイアウトとコーディネート			○	○					○		
2	これからの住まい	住宅政策	住宅政策の課題	○		○							日本の住宅政策と課題について理解する。 新しい住まいのスタイルや住まい方を理解する。 環境に配慮した住まい方について考えることができる。 古民家や空き家などの再利用やリフォーム等の方法について理解する。	
2		多様な住まい方	コーポラティブハウス・シェアハウス	○				○	○					
3		エコロジーな住まい	環境を意識した住まい			○		○	○					
3		再生する住まい	リノベーション・リフォーム			○		○			○			